

# こころでわかる支援者エンパワメントセミナー

『もういちどの自閉症の世界に出会う—「支援と関係性」を考える』

——知的（発達）障害を、関わりの中で考えてきたEPO講師陣から、支援にかかわる人たちに問題提起が出される。それをテーマに、知的（発達）障害者とかかわるなかで見いだせた喜び、悲しみ、怒り、楽しみを背景にした多様な意見を出し合う。そこから支援に関わる人に求められるものは何か、また「生き難さ」として語られてきた知的（発達）障害のある人の生とは？—そんな思考の糸口が見つかるよう。支援と関係性を見つめ直す機会に、現場の理論を創造する一歩にと！——上記『タイトル』の出版記念として本セミナーは開催します。出版まもなく、相模原市の凄惨な『障害者殺傷事件』が起きました。被害現場となった知的（発達）障害者の入所施設の問題性にも一つの焦点があたっている現在かと思われまます。これまでEPOは「地域で生きる」をめざす支援現場の課題究明に取り組み、当事者の生と支援者の生をクロスさせてきました——この方向性をつねに追及していた「こころでわかるエンパワメントセミナー」ですから、今回も同事件を照らし直す新たな視点を提示してくれるものと思います。みんなで話しあえるよう、参加申込みください。\*セミナー長呼びかけ文と申込書は裏面へ。

期日/2016年10月29日(土) 会場/大阪PLP会館 (JR天満・地下鉄扇町)

講師陣/ 浜田寿美男 (立命館大学特別招聘教授・奈良女子大学名誉教授)

村瀬 学 (同志社女子大学生生活科学部特任教授)

高岡 健 (岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター児童精神科部長/発達精神医学研究所長)

9:30(受付9:00~)		オリエンテーション	EPO
①講義 9:40~12:00 (昼休み50分)	各45分のミニ講義(初めての方も分かるよう昨年の続編) □クマのプーは「おばかさん」なのになぜ人気があるのか □「心の理論」から「世界の理論」へ、そして感覚の理論へ。 □自閉症という現象に出会って「私たち」の不思議を思う。	村瀬 学 高岡 健 浜田寿美男	
②フリートーク 12:50~14:20	○参加者グループセッションの要点(講師提起を受けて) A「何かをする障害者」と「何もしない障害者」をどう考えるといいのか? B「障害とは個性ですか?」と尋ねられたなら、どう答えるのが比較的正しいだろうか? C「自閉症」の人と出会い、自分たちが「当たり前」だと思っていたことが、じつは「当たり前」ではなくて、まるで奇跡のように私たちは成り立っていると感じることがありませんか。	参加者	
③グループ発表 14:20~15:00 (20分休憩)	○各グループのまとめ発表	各グループの報告者	
④フォーラム 15:20~17:30  130分	◇フォーラム ・「もうひとつの自閉症の世界」—支援と関係性を考えるから、現場の課題を読み解く。 ・質疑応答&まとめ	村瀬学/高岡健/浜田寿美男(グループ発表への応答含む) 講師陣&支援者	

\* 終了後、自由参加の懇親会に移行/会費:当日徴収(1000円程度の予想)。

\* 懇親会(自由参加) 18:00~19:30予定 「もういちど自閉症の世界」出版記念の乾杯&トークの場

◇受講対象/知的(発達)障害者の支援にかかわる方、並びに本テーマに関心のある方(福祉・教育・保育・相談・行政・司法・医療・大学の各機関・現場等)

◇受講料/6000円 ◇資料代/500円もしくは本『もういちど自閉症の世界に出会う』2400円

◆申込先(EPO) -FAX:06-6320-6068 メール:npoepo@nifty.com

主催 障害者と支援者をつなぐ・エンパワメント・プランニング協会



■申込先/ 障害者と支援者をつなぐ・エンパワメント・プランニング協会（EPO）  
 ○参加申込書 ・ファックス 06-6320-6068 ・Eメール npoepepo@nifty.com

氏名			男・女 (20・30・40・50・60代～)
住所	〒 (自宅・職場)		
連絡先 自宅 ・職場	電話番号		FAX
	MAIL アドレス		
自己紹介 (所属団体・職業・ 活動 etc.)			

〒533-0023大阪市東淀川区東淡路2丁目4-3-111 \*お問合せTEL 06-6324-1133 \*定員になり次第、締め切り。

一相模原事件は、たしかにショッキングですが、むしろ、この時代をよく表している象徴的な事件と言った方がよいかもしれません。重い障害をもった人は「生きている値打ちがない」などと言う人がいるのですが、そう言う私たち自身の「生きている値打ち」って何でしょう。誰もが「値打ち」以前のところから生まれ、「値打ち」以前のところで生き、「値打ち」以前のところで死んでいく。その意味で、誰だってちょぼちょぼ。そこを錯覚して「値打ち」に差があるかのように言い出してしまえば、それこそもうこの事件を起こしてしまったあの彼と同じところに立ってしまう。まずは、これを機会にゆっくり考えてみましょう。  
 (EPO セミナー長・浜田寿美男)

<講師提起テーマ>——グループセッションで話し合ひましょう！

- A** (村瀬 学) — 私の話は「何もしないことをする」ということの意味を尋ねるものでしたそのことに関わることとして相模原市の事件もあるわけですが、その後のパラリンピックや日テレ系のチャリティー番組「24時間テレビ『愛は地球を救う』」を巡ってのNHK側からの批判が「感動ポルノ」というような言い方で出されたりしてきました。それを受けて、「何かをする障害者」と「何もしない障害者」をどう考えるかというテーマを、私の提案とさせていただきます。
- B** (高岡 健) — 小澤勲は「障害とは一つの個性ですなんて、よう言いません」と語っている。では、「障害とは個性ですか?」と尋ねられたなら、どう答えるのが比較的正しいだろうか?
- C** (浜田寿美男) — 「自閉症」と言われる人々と出会うと、自分たちが「当たり前」だと思っていたことが、じつは「当たり前」ではなくて、まるで奇跡のようにして私たちには成り立っていることに気づきます。皆さんは彼ら彼女らの出会いのなかで、そう感じることはありませんか。その点について議論してもらえればと思います。

○会場 : 大阪 PLP 会館  
 大阪市北区天神橋 3-9-27  
 TEL06-6351-5860

<交通機関のご案内>

- \* 大阪市営地下鉄堺筋線：扇町駅 4 番出口  
より徒歩 3 分
- \* JR 大阪環状線：天満駅改札口より南側  
へ徒歩 5 分
- ・ 当館には駐車場はございません。  
公共交通機関をご利用ください。

